

## 「2017年3月期第3四半期決算」テレフォンカンファレンス

## 主な質疑応答

1. 資源・エネルギー・環境事業の連結業績見通しにおける、工事採算の変動（▲160億円）の内容は？
  - ・ プロセスプラントにおける複数のプロジェクトと原子力関連工事の悪化が主な要因。
  - ・ 最も影響が大きいのは、北米で遂行中のプロセスプラントの大型プロジェクト。据付工事の遅れに伴って工事進捗が想定を下回ったため、現状の納期を確保するために作業員の増員・確保を決断し、工事完成までに発生することが想定されるコストも含め、適切なコストを計上した。
  - ・ 今回の悪化の反省と教訓を今後の他の案件にフィードバックしていく。
  
2. 航空・宇宙・防衛事業の連結業績見通しにおける、工事採算の変動（120億円）の要因は？
  - ・ 民間向け航空エンジンが主な要因で、その内容は以下の通り。
    - ・ 相対的に利益率の高いスペアパーツ・スペアエンジンの販売が想定以上に増加。
    - ・ 採算性が悪い量産初期段階のエンジンの出荷台数が想定よりも低水準。
  
3. 民間向け航空エンジンにおいて、スペアパーツの販売が増加している背景と来期の見通しは？
  - ・ エアラインの好業績がその背景にあると考えている。
  - ・ IHI が関係するエンジンを搭載した機体の累計機数は増加しているため、スペアパーツの需要は今後も増加する傾向にある。来期についても大きな反動は無いと予想している。
  - ・ ただし、採算性が悪い量産初期段階のエンジン出荷が本格化する FY2017～FY2018 の営業利益水準については、従来通りの慎重な見方を崩していない。
  
4. F-LNG・海洋構造物事業における不採算案件の現状は？
  - ・ 第2四半期まで大きな損失を計上してきたが、そのような事態は収束しつつある。
    - ① ドリルシップ
      - ・ お客さまとの契約変更により、従来の引き渡し時期を前倒し、2016年12月に引渡しを行った。この契約変更に伴う補償金22億円を特別損失として計上した。今後は、お客さまが残工事リスクを負担することになり、設計に起因する問題が生じた場合でも、IHI が求償されることは無い。
    - ② FPSO
      - ・ 建造現場に30名程度の人員を投入して工事状況をモニタリングしており、前回公表内容からの悪化は認められない。
    - ③ SPBタンク
      - ・ 1番船のタンクが船内に全て搭載され、2月に出渠予定。高い技量の溶接士を確保し、彼らが難易度の高い仕事を担当している。また、作業エリアを増設したことで、ものの流れが整流化してきており、前回公表内容からの悪化は認められない。

5. F-LNG・海洋構造物事業の今後についての検討状況は？

- ・ 現在工事中の案件については混乱が収束しつつある状況であるが、コスト競争力や市場の状況を踏まえつつ、事業と工場の今後について検討を行っている。
- ・ 具体的なことを言える段階ではないが、今期末を目途に結論を出したいと考えており、その結果については、適切な時期に開示する。

6. ターボチャージャ SBU の収益性について、採算が改善している背景と市場環境は？

- ・ 販管費の圧縮と、相対的に高い利益率である開発用の機種の上売が主な要因。
- ・ 地域別の販売状況は以下の通り。
  - ①欧州：FY2017、FY2018 の売上は減少する傾向。FY2019 以降のプロジェクトに注力する。
  - ②中国：販売台数は増加傾向にあり、好調。
  - ③日本：グローバルな生産体制下で中国向けパーツ出荷の増加や開発用の機種の増加もあり、販売台数は増加傾向。

7. 今期中に見込んでいる保有資産売却の内容と金額規模は？

- ・ 今期の決算において計上した特別損失に加えて、F-LNG・海洋構造物事業と工場の今後についての検討状況なども踏まえて、保有資産売却の規模を検討する。
- ・ 現在の自己資本比率の水準を考えると、これ以上純資産が毀損することは避けなければならない。

－自己資本比率を高める手段は？

- ・ 「グループ経営方針 2016」の各種施策の実行を通じた、収益基盤の強化の実現を第一として考えている。
- ・ エクイティファイナンスを実施することは考えていない。

8. IHI が保有している、ウェスチングハウス社の株式について、東芝が減損した場合の影響は？

- ・ 東芝による今後の正式発表の内容によって、株式の減損の要否を検討することになる。
- ・ 出資を実施した際の東芝との契約の中で、東芝に株式を売却するオプションが存在しており、このオプションの価値も含めて会計上の評価を行うことになるので、業績への影響は軽微だと認識している。
- ・ なお、現時点で、オプションの行使について、具体的に検討しているものではない。

以上